

まちの予算

31年度当初予算が3月議会定例会で可決されました。一般会計予算は87億5,850万円で、昨年度より150万円(0.0%)増加しました。事務事業の検証・評価・見直しの徹底や経常経費の削減で効率化を図っています。「第2期内子町総合計画」と「内子町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」に基づく事業、災害復旧や防災拠点整備にかかる経費に、重点的に予算を配分するなど、実効性を意識した予算編成としています。

【歳入の75%は依存財源】

豪雨関連の災害復旧事業にかかる国庫支出金が1億1328万円、県支出金が9285万円増加しましたが、地方交付税のうち普通交付税は市町村合併に伴う段階的縮減により1億5000万円減少しました。財源の不足分は財政調整基金や町債などで確保。その結果、歳入のうち、自主財源は22億1185万円、依存財源は65億4665万円で、依存財源が約75%を占めています。

【災害復旧・防災を最優先に】

平成30年7月豪雨の災害復旧を進めています。被災箇所が多く、現在も作業は完了していません。一日も早い復旧を目指し、2億7098万円の災害復旧費を計上しました。また耐震シェルターの設置やブロック塀対策にかかる経費を助成する補助制度を新設しました。

【子育て支援を充実】

保育所の入所希望者が増加していることから、こぼと保育園と五十崎幼稚園を一体化し、幼保連携型の認定こども園に移行します。31年度に必要な施設などの整備を行い、翌年度4月の開園を目指します。

小中学校のエアコン整備は、31年度中に完了する見込みです。また小田小・中学校では、コミュニティスクールが始まります。

【福祉の分野】

子ども医療費の助成や自立支援給付などに予算を配当して、子育てがしやすい環境づくりや障がい者福祉の充実を図りながら、安心して暮らせる環境づくりに取り組めます。

【最少の経費で最大の効果を】

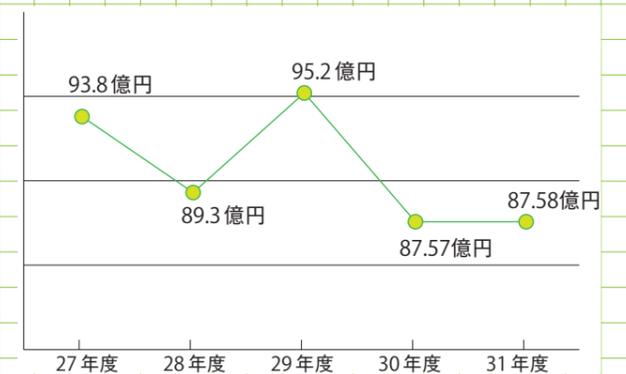
厳しい財政状況が続きますが、町の発展と町民福祉の向上を図るため、最少の経費で最大の効果を上げられる事務事業を見極め、持続的に発展するまちの実現に努めます。

31年度一般会計は

87.58億円

(前年度比0.0%増)

●一般会計の当初予算額の推移



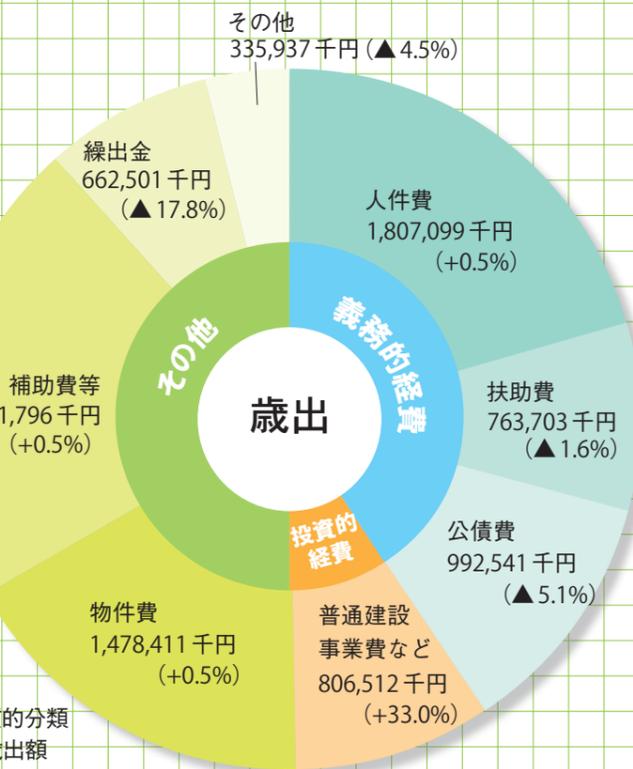
●当初予算の主な事業

事業	単位：千円
〈防災対策〉	
継 老朽空き家除却事業補助	12,000
新 五十崎中央自治会館新築工事	83,050
〈小規模・高齢化集落対策〉	
継 地域おこし協力隊事業費	18,537
継 町営バス・デマンドバス運行事業	21,321
〈観光振興対策〉	
新 新深山荘実施・外構設計業務委託	37,766
新 内子町観光協会育成補助金	15,000
〈医療対策〉	
継 愛媛大学寄付講座開設による寄附金	22,000
継 子ども医療費助成	52,530
〈子育て支援対策〉	
継 うちこ子育て応援事業	4,158
継 子ども放課後週末活動費	8,826
〈移住対策〉	
継 移住者住宅改修支援事業費補助金	6,400
〈環境対策〉	
継 太陽光パネル・家庭用蓄電池等設置補助	2,060
〈農業振興対策〉	
継 農林業施設整備事業補助	7,500
新 道の駅からり漏水改修及び周辺工事	19,723
〈地域経済活性化対策〉	
継 創業・起業支援事業補助	3,000
〈教育振興対策〉	
継 青少年海外派遣事業補助	1,500
新 小田小・中学校コミュニティスクール	1,533
〈災害復旧対策〉(平成30年7月豪雨関連)	
継 過年発生災害復旧費	270,977

継 ……継続事業 新 ……新規事業

31年度特別会計予算額 (千円・%)

特別会計	31年度	30年度	増減率
小田高校寄宿舎	13,224	13,051	1.3
国民健康保険事業	2,092,262	2,183,600	▲4.2
後期高齢者医療保険事業	230,767	246,600	▲6.4
介護保険事業	2,577,000	2,552,700	1.0
介護保険サービス事業	18,755	17,996	4.2



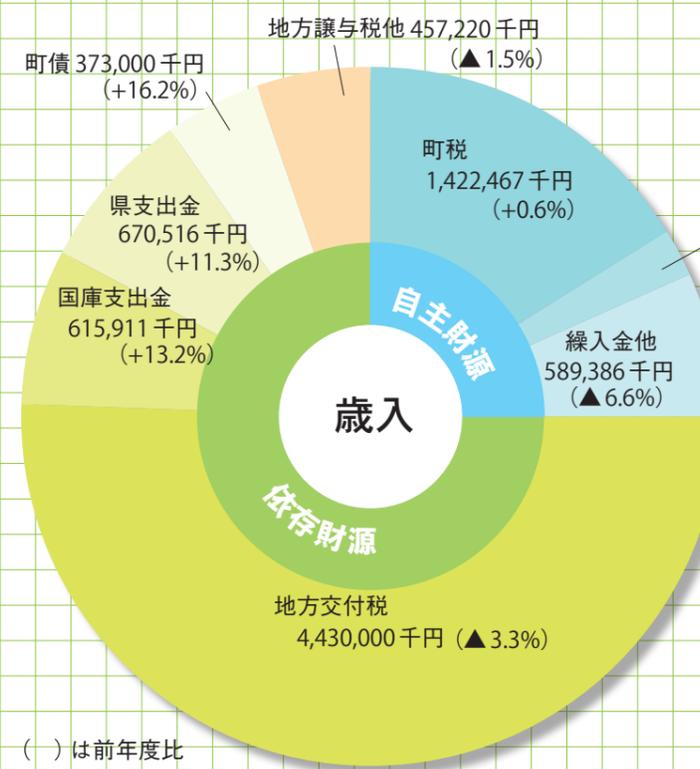
※性質の分類の歳出額

31年度企業会計(水道事業)予算額 (千円・%)

	31年度	30年度	増減率
収益的収支(収入)	464,679	448,126	3.7
収益的収支(支出)	429,674	429,724	▲0.0
資本的収支(収入)	352,585	307,031	14.8
資本的収支(支出)	562,636	466,559	20.6

31年度企業会計(下水道事業)予算額 (千円・%)

	31年度	30年度	増減率
収益的収支(収入)	303,713	285,980	6.2
収益的収支(支出)	303,717	285,980	6.2
資本的収支(収入)	79,599	80,928	▲1.6
資本的収支(支出)	140,079	141,288	▲0.9



()は前年度比

●語句の説明

【歳出】

性質別分類	経済的性質を基準とした分類。義務的経費・投資的経費・その他に分けられる
義務的経費	町の運営のために必ず支払わなければならないお金
投資的経費	施設や道路整備など、生活基盤を整えるために使うお金
扶助費	社会保障制度の一環として、現金や物品などを支給する費用
公債費	借入金の返済にかかる費用
物件費	消耗品や業務委託料など
繰出金	一般会計から特別会計などへ繰り出すお金

【歳入】

自主財源	町が自主的に集められるお金
依存財源	国や県から交付されるお金や町債
町税	町に納める税金(町民税、固定資産税など)
繰入金	基金などから一般会計に繰り入れるお金
地方交付税	全ての市町村が一定の行政サービスを行えるように国が交付するお金
国庫支出金	町が行う事業に対して国が交付するお金
県支出金	町が行う事業に対して県が交付するお金
町債	借入金のうち長期にわたり返済するもの
地方譲与税	国税として集め、全部または一部が市町村に譲与されるお金